

令和4年度事業報告書

公益財団法人宮崎県産業振興機構

1 公益財団法人宮崎県産業振興機構の概要

(1) 目的

県内中小企業における、経営基盤強化、経営の革新、技術の高度化及び新事業の創出並びに関係組織・機関との連携の推進等に資する事業を行うことにより、本県産業の振興を図るとともに、活力ある地域社会の形成に寄与することを目的とする。

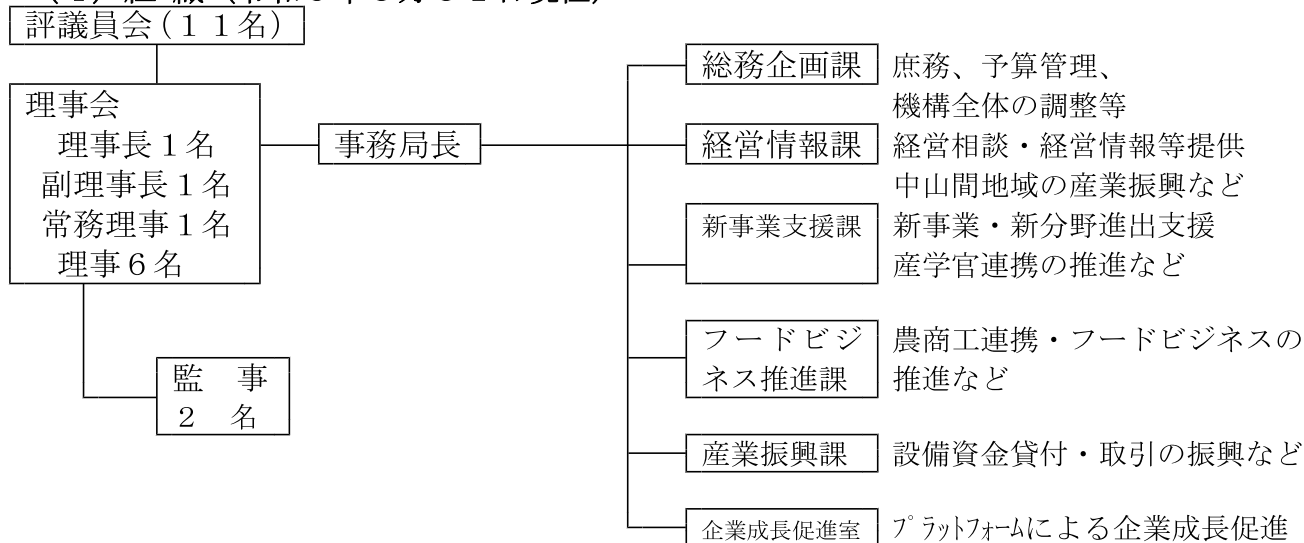
(2) 事業

- ①経営課題等に対する相談、助言に関する事業
- ②新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業
- ③経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業
- ④産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業
- ⑤産業振興に資する人材の育成に関する事業
- ⑥産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

(3) 沿革

平12. 4	財団法人 宮崎県産業支援財団設立 (4月1日) (財) 宮崎県産業技術情報センター(昭54. 9 設立)と (財) 宮崎県中小企業振興公社(昭43. 5 設立)を統合
25. 4	公益財団法人に移行、名称を公益財団法人宮崎県産業振興機構に変更

(4) 組織 (令和5年3月31日現在)



常勤役員	3名
職員① (県派遣職員・プロパ-職員・企業派遣職員)	15名
職員② (有期雇用職員・無期雇用職員)	27名
コーディネーター、アドバイザー等 (委嘱契約等)	39名
合計	84名

(5) 所在地

- ① 宮崎市佐土原町東上那珂16500番地2 (宮崎県工業技術センター内)。
- ② なお、当機構が運営する「みやざきフードビジネス相談ステーション」は宮崎グリーンピア壱番館 (K I T E N) 3階に、また企業成長促進室の職員が事務局員を務める「宮崎県企業成長促進プラットフォーム事務局」は同7階に設置。

2 評議員会・理事会の開催状況

(1) 評議員会の開催状況

第1回評議員会

日 時：令和4年6月29日
場 所：アートホテル宮崎スカイタワー 3階「向日葵・菜ノ花」
議 事：(1) 令和3年度事業報告について
(2) 令和3年度収支決算について
(3) 評議員の選任について
(4) 役員を選任について

第2回評議員会

日 時：令和5年3月28日
場 所：宮崎観光ホテル 東館2階「紅」
議 事：(1) 評議員の選任について
(2) 役員を選任について

(2) 理事会の開催状況

第1回理事会

日 時：令和4年4月1日 書面審議
議 事：(1) 業務執行理事の選定について
(2) 諸規定の改正について

第2回理事会

日 時：令和4年6月7日
場 所：K I T E N 8階コンベンションホール中会議室
議 事：(1) 令和3年度事業報告について
(2) 令和3年度収支決算について
(3) 令和4年度事業計画及び収支予算の変更の専決について
(4) 令和4年度事業計画及び収支予算の変更について
(5) 令和4年度第1回評議員会の開催について

第3回理事会

日 時：令和4年10月25日
場 所：宮崎観光ホテル 東館2階「大虹」
議 事：(1) 令和4年度上半期における事業の進捗状況等について
(2) 令和4年度事業計画及び収支予算の変更の専決について

第4回理事会

日 時：令和5年3月6日
場 所：K I T E N 8階コンベンションホール中会議室
議 事：(1) 令和4年度下半期における業務執行状況等について
(2) 令和5年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
(3) 令和4年度第2回評議員会の開催について
(4) 公益財団法人宮崎県産業振興機構第6期中期運営計画の策定について

3 令和4年度事業の概況

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない中、原油価格や物価の高騰の厳しい状況も加わり、前年度に続き、宿泊、飲食、観光等のサービス業、製造業など多くの事業者が一層苦しい経営を強いられるなど、県民生活や経済活動に大きな影響が及んだ。

こうした中、当機構では国や県及び関連団体と密接な連携を図りながら、様々な要因により打撃を受けた中小企業に対する支援策を迅速かつ的確に実施するとともに、産学官の共同研究、事業者の新しいビジネスモデルへの転換や地域課題解決に向けた相談・取組等に対しても、積極的に支援を行ったところである。

具体的な取組としては、新型コロナウイルス感染症対策として、県との連携の下、経営環境の変化に対応する新事業展開を図るための事業や、ものづくり企業の技術力向上に向けた取組に対して補助事業を実施した。

開設から9年目となった「よろず支援拠点」では、商工団体や金融機関等とも積極的な連携を図り、セミナーや研修会の合同開催、出張相談など、様々な方面から事業者支援を行った。「みやざきフードビジネス相談ステーション」においては、ワンストップ相談窓口としての対応や新商品開発・改良などに取り組む食品関連事業者に対する支援を行うとともに、令和4年度から農山漁村発イノベーションサポートセンター及びみやざきLFP（ローカルフードプロジェクト）事務局として、農林漁業者等の取組に対する支援を新たに開始した。

また、「自己変革力」を身につけ、新たなビジネスモデルに挑戦し、環境変化に柔軟に対応できる企業を育成するため「宮崎県次世代リーディング企業」として新たに6社認定して伴走支援を行ったほか、県内外に配置しているコーディネーターやアドバイザーとのネットワークを活かし、取引拡大に関する企業情報、技術動向等を広く収集・提供するとともに、コロナ禍の中、WEB商談なども効率的に取り入れながら、中小企業の取引振興を図った。

このような公益財団法人としての役割を果たしていくためには、財政基盤の安定が不可欠であることから、各事業の予算の執行管理を徹底するとともに、自主財源の確保を図るため、優遇措置の拡大による賛助会員の加入促進に積極的に取り組んだ。

以上、令和4年度も、第5期中期運営計画に基づき、企業に寄り添いサポートすることを心がけながら、県内中小企業・小規模事業者の新型コロナウイルス感染症の影響からの速やかな回復と今後の持続可能な成長・発展に向けて、職員一丸となって積極的・効果的な支援に努めたところである。

令和4年度に実施した各事業の実績については、以下の通りである。

令和4年度事業費総括表				
(単位：千円)				
		最終予算額(A)	決算額(B)	差引額 (A)-(B)
(1)	経営課題等に対する相談、助言に関する事業	102,593	84,821	17,772
①	中小企業等経営再構築サポート事業	10,000	5,083	4,917
②	みやざきビジネス応援プラザ運営事業	1,861	2,407	▲ 546
③	よろず支援拠点事業	90,732	77,331	13,401
(2)	新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業	207,310	183,134	24,176
①	新事業展開支援事業	145,000	132,540	12,460
②	みやざき農商工連携支援事業	8,000	6,561	1,439
③	技術開発支援コーディネート事業	4,996	4,113	883
④	環境イノベーション支援事業	23,685	20,123	3,562
⑤	中小企業特許出願等助成事業	3,732	2,207	1,525
⑥	戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）	21,897	17,590	4,307
(3)	経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業	160,607	126,035	34,572
①	取引振興事業	30,350	26,571	3,779
②	みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業	130,257	99,464	30,793
(4)	産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業	4,678	4,677	1
①	情報化支援活動事業	4,678	4,677	1
(5)	産業振興に資する人材の育成に関する事業	34,082	14,424	19,658
①	人材育成事業	34,082	14,424	19,658
(6)	産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業	174,168	149,286	24,882
①	中山間地域産業振興センター運営事業	9,051	8,539	512
②	地域課題解決型起業支援事業	24,950	19,448	5,502
③	東九州メディカルパレー構想拠点強化事業	4,802	4,571	231
④	フードビジネス推進基盤強化事業	53,000	47,371	5,629
⑤	地域食資源イノベーションサポート事業	11,365	9,295	2,070
⑥	LFP強化事業	10,000	9,040	960
⑦	プラットフォームによる地域産業・企業成長促進事業	26,000	20,472	5,528
⑧	新事業創出支援事業	20,000	16,893	3,107
⑨	ビジネスプロデュース事業	15,000	13,657	1,343
	計（1～6）	683,438	562,377	121,061
7	その他	94,197	110,243	▲ 16,046
	その他事業活動支出	94,197	110,243	▲ 16,046
	合計	777,635	672,620	105,015

(1) 経営課題等に対する相談、助言に関する事業

① 中小企業等経営再構築サポート事業（事業費：5,083,328円 県）

事業の再構築に取り組む企業に対して、当機構内にプロジェクトチームを構成し、支援計画の策定、コーディネーター等による助言指導や専門家派遣等の伴走支援を行うことで、事業継続が図られるとともに、新たな成長への基盤づくりを行うことができた。

支援企業数	10社
専門家派遣回数	延べ40回

② みやざきビジネス応援プラザ運営事業（事業費：2,406,525円 機構）

創業意欲があり優れた事業計画を持つ個人起業家やベンチャー企業を支援・育成するため、インキュベーションルームを低価格で提供するとともに、よろず支援拠点と連携して経営に関する指導・助言を行い、一貫した創業支援を行った。

入居者数	(延べ)	8社
------	------	----

③ よろず支援拠点事業（事業費：77,330,605円 国）

中小企業や小規模事業者の起業・成長・安定の各段階のニーズに応じたきめ細やかな対応を図るため、中小企業診断士、弁護士、税理士、広告戦略やIT関連分野の専門家など、総勢20名のコーディネーターを配置し、多様な相談に対応した。

相談対応に当たっては、宮崎市中心部、都城市、延岡市、日南市にそれぞれサテライトを開設するとともに、県内の創業支援拠点（都城市未来創造ステーション、えびの市起業支援センター）や金融機関で出張相談会を開催するなど、相談者の利便性向上を図った。

また、最も相談者が多い宮崎市中心部のサテライトについては、一昨年9月にコワーキングスペースである「ATOMica宮崎」に移転し、相談者の利便性の更なる向上とコワーキングスペースを活用する事業者や個人事業主、起業を検討している方への相談対応など新規相談者及び人材の獲得に取り組んでいる。

(コーディネーター 20名 ※令和5年3月末日)

チーフコーディネーター	川野 圭介	中小企業診断士
サブチーフコーディネーター	長友 慶徳	弁護士、弁理士
	柳本 明子	IT企業代表
	宮本 祐輔	中小企業診断士
コーディネーター	飯干 良美	社会保険労務士
	伊藤 陽生	IT企業代表
	糸山 秀彦	税理士
	倉吉 教文	元商工会議所専務
	黒田 泰裕	中小企業診断士
	河野 宝	税理士
	島中 星輝	デザイン企業代表
	下松 孝裕	中小企業診断士
	高橋 忠伸	中小企業診断士
	中城 健太	中小企業診断士
	新田 裕章	中小企業診断士
	馬場 拓	中小企業診断士
	福岡 正人	中小企業診断士、社会保険労務士
	宮田 理恵	コンサルティング企業代表
	森 祐一	HACCP総合支援マネージャー
	小園 勝之	アートディレクター

(企業相談実績)

業 種	相談件数
サービス業	3, 6 1 2件
卸売業、小売業	1, 7 5 4件
宿泊業、飲食業	1, 6 2 3件
製造業	8 7 2件
農業・漁業・林業	4 4 9件
医療・福祉	4 7 0件
建設業	4 7 3件
その他	5 9 9件
合 計	9, 8 5 2件

課 題	相談件数
経営知識	1, 5 9 9件
広報戦略・広告デザイン	1, 2 6 8件
事業計画策定	1, 5 8 4件
施策活用	1, 1 2 8件
販路提案	1, 2 2 2件
I T活用	6 1 9件
資金繰り	5 1 8件
現場改善・生産性向上	6 0 3件
市場設定・調査	2 5 9件
商品開発	3 5 1件
雇用・労務	2 0 2件
事業連携	2 2 6件
その他	2 7 3件
合 計	9, 8 5 2件

(出張相談会開催状況)

開催回数	相談者数	開催場所
2 1 5回	8 9 2名	日本政策金融公庫宮崎支店 日本政策金融公庫延岡支店 商工中金宮崎支店 宮崎第一信用金庫本店 宮崎第一信用金庫都城営業部 宮崎第一信用金庫日南営業部 宮崎商工会議所 都城市未来創造ステーション 日向市産業支援センター えびの市起業支援センターほか

(セミナー開催状況)

開催回数	参加者数	開催テーマ
3 5回	4 8 4名	・ I T活用に関すること ・ 雇用に関すること ・ インボイスに関すること ・ 創業に関すること ・ 事業承継に関することなど

(その他)

○みやざき女性起業家育成プロジェクトN-ext

開 催 日：令和4年11月12日（土）

会 場：A T O M i c a 宮 崎

参 加 者：最終審査進出者、審査員等

内 容：県内で新たなビジネスに挑戦する女性を対象にコンテストを実施。書類審査、プレゼンテーション審査を経て、優秀賞3名を決定（下表）。

応募総数 23名 最終審査進出者 9名

氏 名	プラン名	概 要
南 恵子	家で毛染めする人の悩みを完全解決 新たな時間を創出する H o o d o t	毛染めの際の服汚れを解決する商品の企画・製造・販売

有村 あや子	生きづらさを手助けする ケアステーション	訪問介護、障がい者サ ービス、福祉タクシー
八重尾 恵美	あなたらしさを見つける暮ら しのスタイリング事業	暮らしの動線見直し、 お掃除と家事代行サー ビス等

○宮崎県よろず支援拠点地域支援機関連携フォーラム

開催日：令和4年11月29日（火）

会場：K I T E N 8階コンベンションホール

参加者：県内の金融機関等の支援機関ほか

参加人数：54名

内容：支援事例発表、DX関連セミナー

(2) 新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業

①新事業展開支援事業（事業費：132,539,720円 県）

新型コロナウイルス感染症の蔓延や原油価格、物価の高騰など経営環境の変化に対応するため、新商品の開発や製造方法の転換など、事業者の新たな事業展開を支援する補助事業を実施した。

・募集期間：[初回] 令和4年5月 9日～6月 9日
[追加] 令和4年7月29日～8月10日

・申請総数：231件 申請金額：427,189,000円
・交付決定：77件 交付決定額：134,143,000円
・交付確定：74件 交付確定額：125,230,000円

②みやざき農商工連携支援事業（事業費：6,560,610円 県 全国協会）

中小企業者又は農林漁業者による地域資源を活用した、宮崎県産の素材に付加価値を付ける商品開発・商品改良の取組を支援した。

また、コロナ禍における販路開拓の手段として非対面での取引の拡大が予想されるため、オンライン商談会やECによる販路開拓及びそれに伴う商品開発等個別相談会を実施した。

ア 商品開発・商品改良の取組への支援

	事業者名	事業計画名
1	Alisappo-Link	宮崎県産在来種大豆「みやだいず®」の豆乳を使用した商品のブラッシュアップ事業
2	家庭料理の店 らん菜	「走るお野菜」ブラッシュアップ事業
3	株式会社菓te-ri	新商品開発におけるパッケージデザイン開発
4	河野フーズ	県産栗と米粉を活用した焼き栗きんとん、ワッフルクッキーの開発及び販路開拓
5	有限会社九南サービス	県産原木椎茸を使用した椎茸チップスの商品開発事業
6	くす美トマト農園	美トマトギフト《コンポート(白)》と《バター美トマト(桃色)》の開発
7	株式会社デイリーマーム	宮崎県産の良質なごぼうを使用した「ごぼう茶」のブラッシュアップ事業
8	野崎漬物株式会社	県産大根の新たな発信！しび辛きざみたくあん(仮称)
9	株式会社日高水産	小売用商品パッケージデザインのブラッシュアップ
10	株式会社一ッ葉フーズ	宮崎漬物の元祖である沢庵の端材を活用した「たくあんチップス」

イ個別相談会

期 間	令和4年9月～令和5年3月
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・支援対象事業者：EC活用に意欲のある県内事業者を募り10事業者が参加 ・ECの効果的な活用、ECに合った商品の開発・改良について支援 ・面談により効果的・効率的なネットショップ運営及び商品開発をマンツーマンで指導。 ・1時間/コマで延べ23コマの個別相談をオンラインで実施 ・前年度実施したEC販路開拓Webセミナーをアーカイブ配信し、延べ133回の視聴

③技術開発支援コーディネート事業（事業費：4,112,759円 県）

公募型研究開発プロジェクトへの提案内容の企画・設計を行うコーディネーターを配置することにより、優れた研究成果の事業化を支援した。

④環境イノベーション支援事業（事業費：20,122,864円 県）

i 産業廃棄物の排出抑制やリサイクルを促進するため、産学官が連携した共同研究グループや県内企業が行う環境リサイクル関連の新事業創出に対して支援を行った。

	テ ー マ	管理法人	共同研究者
1	多種類の不燃性産業廃棄物を活用した路盤材及びブロックの開発 【R&D】R2年度採択	(株)塩川産業	宮崎大学
2	漬物残渣からの有用成分回収技術の基礎実験型可能性調査 【基礎実験型F/S】R3年度採択	(株)上沖産業	宮崎県工業技術センター
3	鶏ふんの燃料ペレット化に関する基礎実験型調査 【基礎実験型F/S】R3年度採択	(株)松山	都城工業高等専門学校
4	養豚排水処理施設における汚泥廃棄処分量削減のための「スマート汚泥管理システム」商品化可能性の基礎実験型調査 【基礎実験型F/S】R3年度採択	三桜電気工業(株)	宮崎県畜産試験場川南支場
5	バイオスティミュラントに着目した新しい堆肥製造のための分析サービスの確立 【F/S】R4年度採択	環境土壌クリニック	(有)エコロ
6	宮崎県産水産物由来未利用資源のシニア食への応用可能性基礎実験 【基礎実験型F/S】R4年度採択	(株)九州築地	宮崎大学 宮崎県食品開発センター
7	発酵技術を用いた産業廃棄物であるおからの新たな食用利用 【R&D】R4年度採択	(株)オカラテクノロジズ	宮崎県食品開発センター
8	鶏ふんの燃料ペレット製品の実用化に向けた研究開発 【R&D】R4年度採択	(株)松山	都城工業高等専門学校
9	漬物残さからの有用成分回収技術の開発 【R&D】R4年度採択	(株)上沖産業	宮崎県工業技術センター

ii 環境リサイクル関連事業で支援した研究開発成果の事業化や製品の販売促進を図るため、企業の展示会等への出展支援を行った。

	テ ー マ	事業者名
1	「フードストアソリューションフェア」、 「フードエキスポ九州2022」、 「スーパーマーケット・トレードショー2023」への出展	(株)MOMIKI
2	「中小企業 新ものづくり・新サービス展」への出展	吉玉精鍍(株)

iii 環境リサイクル関連の研究開発テーマの掘り起こしを図るため、県内企業の潜在的開発ニーズや大学・公設試・企業の研究・技術ニーズの調査等を行った。

【研究開発等ニーズ調査】

- ・調査企業数：県内企業570社（回答数133社 回答率23.3%）
- ・成果：研究開発テーマ候補3件を掘り起こした。

⑤中小企業特許出願等支援事業（事業費：2,207,013円 国 機構）

ア 知的財産を活用した中小企業の振興を図るため、中小企業の特許出願、意匠出願に要する経費の助成を行った。

助成件数	助成金額
8件	1,112,000円

イ 中小企業等が外国での事業展開等に活用する産業財産権（特許、実用新案、意匠商標、冒認対策の出願）に要する経費の助成を行った。

助成件数	助成金額
1件	1,043,000円

⑥戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）の事業管理機関業務

（機構事業費：17,590,045円 国）

中小企業が研究機関等と連携して行う研究開発、試作品開発等を一貫して支援する国のサポイン事業に採択された次の県内1企業について、事業管理機関として製品化に向けての取組を支援した。

企業名	テーマ	共同研究機関	事業期間
安井(株)	精密な術野の測量やマーキングを行うための人体に安全な顔料を用いた医療機器認証マーカーの開発	国立国際医療研究センター、御国色素(株)	令和2年7月28日～令和5年3月31日

(3) 経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業

①取引振興事業（事業費：26,570,621円 県）

下請取引等に関する企業情報、技術動向等を広く収集・提供し、中小企業の取引の促進と適正化を推進するとともに、受注基盤の強化を図り、中小企業の受注の確保と取引先の多角化を支援した。

（登録企業の状況）

区分	令和4年度登録実績	累計登録企業数
発注企業	1企業	221企業
受注企業	4企業	433企業
計	5企業	654企業

（事業実績）

ア 受発注情報等収集提供事業

区分	件数	指導・相談件数	区分	件数
取引あっせん・紹介件数	666件	指導・相談件数	取引あっせん相談	274件
成立件数	40件		経営関係	61件
不成立件数	626件		苦情・紛争関係	0件
折衝中	0件		その他	28件
			発注開拓企業件数	477社

イ 商談会等開催事業

商談会等開催

名称・開催日	会場	参加企業数	備考
個別商談（宮崎） 令和4年7月、9月	県工業技術センター等 （県内）	発注企業 3社 受注企業 3社	県外企業の県内企業訪問や対面商談、Web商談を随時実施
ものづくり企業Web商談会（宮崎） 令和4年4月～5月	オンライン	発注企業 7社 受注企業 19社	全国の機械金属関係の発注企業に案内を出し、申込企業と随時商談会を開催

製造技術マッチングフェア（北九州市） 令和4年7月6日、7日	西日本総合展示場 （北九州市）	発注企業 48社 受注企業 19社	福岡県中小企業振興センター主催の同フェアを、九州7県共催で対面商談とWeb商談の構成で開催
ものづくり取引拡大商談会（宮崎） 令和4年9月14日、15日	MRTmicc （宮崎市）	発注企業 15社 受注企業 46社	機構主催による対面の商談会を宮崎で開催
ものづくり取引拡大商談会（大阪） 令和4年12月7日	ホテルグランヴィア大阪 （大阪市）	発注企業 11社 受注企業 17社	機構主催による対面の商談会を大阪で開催
ものづくり取引拡大Web商談会 令和5年3月6日～8日	オンライン	発注企業 11社 受注企業 20社	機構主催によるWeb商談会を開催

ウ 展示会等出展支援事業
展示会等出展支援

名称・開催日	会場	参加企業数	備考
機械要素技術展 令和4年6月22日～24日	東京ビックサイト （東京都）	県内企業5社	出展企業を公募し、審査により選定
西日本製造技術イノベーション 令和4年7月6日～8日	西日本総合展示場 （北九州市）	県内企業19社	製造技術マッチングフェア参加の企業の展示
関西機械要素技術展 令和4年10月5日～7日	インテックス大阪 （大阪市）	県内企業5社	出展企業を公募し、審査により選定

②みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業（事業費：99,464,307円 県）

小規模企業者の経営基盤強化に必要な設備の導入の促進を行い、企業の経営基盤の強化を支援した。

貸付実績

業種別	令和4年度 資金貸付実績		(参考)	令和3年度 資金貸付実績	
	件数	金額（千円）		件数	金額（千円）
農林水産業	1	25,000	0	0	
鉱業	0	0	0	0	
建設業	3	22,990	2	27,060	
製造業	2	47,000	4	27,720	
運輸業	0	0	0	0	
卸売業	0	0	0	0	
小売業	0	0	0	0	
サービス業	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
合計	6	94,990	6	54,780	

(4) 産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業

①情報化支援活動事業（事業費：4,677,000円 県）

機構特選トピックスやイベントカレンダーなど活用頻度が高いコンテンツを安定的に運用しつつ、相談業務を伴う支援策や機構の重要施策は中小企業等がより見つけやすいようサイドメニューに配置するなど、より分かりやすい情報提供を行った。また、中小企業・ベンチャー支援策等のPRを行うためパンフレットの作成や、中小企業等に

有益な支援策を提供するメールマガジンを発行した。

パンフレットの発行	発行部数 2,000部	
メールマガジンの配信	配信回数 23回	登録読者数 2,532者(R5.3.31)

(5) 産業振興に資する人材の育成に関する事業

①人材育成事業（事業費：14,423,990円 機構 全国協会）

中小企業の経営力・技術力の向上や企業の将来的成長につながる経営者・技術者等の人材育成を図るため、研修等に要する経費を助成した。

ア 企業経営力アップ人材育成支援事業

中小企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、県内の中小企業の経営者や従業員が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合の経費の一部を助成した。

(助成先)

27社

(助成実績)

研修等の内容	延べ企業数	延べ参加者数
経営管理関係	2件	3人
営業強化関係	1件	3人
技術力向上関係	13件	73人
リーダー育成関係	6件	66人
社内研修	5件	156人
合計	27件	301人

イ 未来成長企業経営力アップ人材育成支援事業

未来成長企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、未来成長企業の経営者や従業員が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合の経費の一部を助成した。

(助成先)

5社

(助成実績)

研修等の内容	延べ企業数	延べ参加者数
経営管理関係	0件	0人
営業強化関係	0件	0人
技術力向上関係	2件	6人
リーダー育成関係	1件	25人
社内研修	2件	64人
合計	5件	95人

ウ 若手技術者等育成支援事業

県内中小企業の技術力や研究開発力の向上を図るため、若手技術者・研究者が取り組む「ものづくり基盤技術」を活用した技術開発に対して支援を行った。

	テーマ	企業名	備考
1	木材乾燥機廃液浄化技術の開発	(株)高嶺木材	若手1名(39歳)が樹脂吸着廃液処理装置のシステム化・実証試験、鉄吸着廃液処理装置の軽量化及び処理排水の定量的評価に取り組んだ。

2	焼成ボラの土木材料への応用に関する研究開発	(有)南建興業	若手1名(28歳)がコンクリート用軽量骨材への応用及び透水性ブロックの開発に取り組んだ。
3	D X管理システムの高度化及び、酵素特化の商品開発	早川しょうゆみそ(株)	若手1名(32歳)がD X管理システムの高度化及び酵素特化発酵食品の開発に取り組んだ。
4	原料の品質を見える化して長年の経験と勘による製茶技術を数値化する事への挑戦	(有)宮崎上水園	若手1名(45歳)が原料茶葉の目利き手法確立、製茶製造条件のデータ化及び官能評価等に取り組んだ。
5	野菜チップス賞味期限延長技術及び品質管理技術の高度化	(株)デイリーマーム	若手(40歳)他3名が保存性評価試験、使用油の検討及び官能評価による賞味期限管理基準検討に取り組んだ。
6	山間部のスマート農業実現に向けたICT・IoT技術の確立	(株)ソフモ	若手1名(31歳)が栽培に必要なIoT技術の習得、栽培管理アプリの開発及び実証試験に取り組んだ。
7	宮崎県産材を使用した菓子の最適製造プロセスの確立	(株)高千穂ムラたび	若手(35歳)他1名が菓子の最適な製造プロセスの確立に取り組んだ。
8	宮崎県産機能性作物を利用した健康食品製造技術の開発	(株)Have fun Factory	若手(44歳)他2名が成分分析方法の習得、機能性評価に取り組み、製品を試作した。
9	ICT建機の運用における電波障害予測・補正手法の確立	(株)コマツレンタル宮崎	若手(28歳)がICT建機の運用における電波障害予測及び補正方法の確立に取り組んだ。
10	低糖質菓子製造に係る技術開発	(株)イート	若手(30歳)が低糖質菓子の製造技術開発に取り組んだ。

エ 未来みやざき産業人材育成事業

県内中小・中堅企業等の従業員等が取り組む地域資源等を活用した研究開発、新サービスの開発、デジタル技術の導入を支援し、県内の新たな市場・産業の創出及びデジタル技術導入促進など、県内産業の持続・発展を促進する。

	テーマ	企業名	備考
1	自社商品「四億年のめぐみ」及び自社事業と観光産業の連携による新たな着地型観光商品の開発	(株)藤木石油店	自社製品と五ヶ瀬町の観光名所及びナイトアクティビティを組み合わせた着地型観光開発に向けた実証実験に取り組む。
2	汎用性の高い国内外プロモーション用動画制作と実証研究	早川しょうゆみそ(株)	粉末みそスパイスの国内外販売展開における視覚効果の高いプロモーションに向けた実証実験に取り組む。
3	ハンドメイド・クラフトの手作り体験教室(ワークショップ)事業のプラットフォーム構築と観光産業とのコラボレーション検証	合同会社ツクレタ	ハンドメイド分野における作家と顧客ニーズを結びつけるプラットフォーム構築及び観光産業との連携における実証実験に取り組む。
4	陸上魚類養殖におけるリアルタイムカメラを活用したデジタル管理化に向けた実証試験	(有)大田商店	養殖における魚の活性状況及びいけすからの飛び出し事故防止に向けて、webカメラを活用したモニタリング実証実験に取り組む。
5	IoTを活用した製造現場DX化の確立	アルバック機工(株)	製造機械の稼働状況等をモニタリングし、製造現場の最適化に向けた実証実験に取り組む。
6	ID・メモリ付きタグの共通検査機の開発	吉川工業アールエフセミコン(株)	仕様の異なるRFIDタグ製造後の検査工程における共通検査機器の開発に取り組む。
7	農産物の新品目や新しい病気等に対応した残留農薬分析技術の開発	(一社)食の安全分析センター	需要が増加している県産農産物の残留農薬分析に対応するため、新たな技術開発に取り組む。

8	施設園芸ハウスにおける電熱シート（PHF）を用いた地温コントロール栽培技術の開発	(株)アルバ宮崎	電熱シートを用いた新たな農産物栽培技術開発に取り組む。
9	サツマイモの深紫外線（UV-C）殺菌技術の開発	(株)MFE HIMUKA	深紫外線を活用したサツマイモ貯蔵時における殺菌技術開発に取り組む。
10	昆虫食への展開に向けた効率的コオロギ飼育の構築及び衛生的コオロギパウダー製造技術の開発	(株)宮防	コオロギの効率的な飼育方法の構築及び昆虫食展開に向けた加工技術開発に取り組む。

(6) 産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

①中山間地域産業振興センター運営事業（事業費：8,539,331円 県）

中山間地域における事業者等からの相談に対応する「中山間地域産業振興コーディネーター」を配置し、地域資源等を生かした商品の開発や販路拡大の支援のほか、中山間地域の産業振興に資する「中山間セミナー」を実施した。

中山間セミナー開催

開催日	会場	参加者数	内容
令和4年12月5日(月)	宮崎県工業技術センター内小研修室 (ハイブリッド開催)	15名	<p>第1部 講演 テーマ「商品開発のポイント～失敗しない為の知識と新たなチャレンジ」 講師：森祐一氏 （よろず支援拠点 コーディネーター） 原価計算や補助金の活用などのよくある疑問について成功事例、失敗例を交えて分かりやすく解説。</p> <p>第2部 見学 食品開発センターのフードオープンラボの見学。食品開発用の機材を見学しつつ、HACCPの基礎を学習。</p>

このほか、県内の道の駅を対象として、セミナー（2回）を予定したが、新型コロナウイルスの影響により中止した。

②地域課題解決型起業支援事業（事業費：19,448,020円 県）

地域課題の解決に取り組む新たな起業者を対象に、起業支援金の交付及び事業の立ち上げ等に伴走支援を行った。

補助件数：10件 補助金額：16,676,000円

	商号	事業内容	開業届出日等
1	(株)Hoodot Japan	毛染めの際の、衣類汚染防止用フード付ケープの製造・販売	R4年 11月1日
2	Puravida plant base ice cream	乳製品、卵、白砂糖不使用のアイスクリームの製造・販売	R4年 12月5日
3	ぼっ穂屋	駅前の、地域生産の米・食材を使った手作りおにぎり店	R4年 9月9日

4	(合同会社) Blend Hill	デイサービス施設での美容レクレーション	R4年 6月1日
5	#lunch cafe	空き家を活用する、テイクアウトデリバリーの弁当・惣菜の製造・販売店舗	R4年 4月13日
6	HANE. ntoko	発酵食品等の料理提供、ワークショップ運営のカフェ	R4年 12月23日
7	mishou	県内農作物によるスープ、惣菜、弁当のテイクアウト店	R4年 12月2日
8	ベニパンダ 中国餃子専門店	油不使用の中国式水餃子の製造・販売	R4年 8月8日
9	ロースイーツ工房 野いちごと木の実	有機農産物による栄養豊富なロースイーツの製造・販売	R4年 11月22日
10	ハルトツキ	ハーブや地元食材を使用するヘルシーなカフェ	R4年 4月20日

③東九州メディカルバレー構想拠点強化事業（事業費：4,571,327円 県）

東九州メディカルバレー構想を推進するため、「宮崎県医療機器産業研究会」^(※)の会員企業を対象に医療機器産業への参入を支援する「参入支援・開発支援コーディネーター」を設置し、情報提供や助言を行うとともに、会員企業相互や医療関係機関の橋渡し役として活動を行った。

また、医療機器等の販路開拓を支援する「販路開拓コーディネーター」や医療機器等の薬事戦略などについて助言指導を行う「薬事戦略アドバイザー」を設置して、首都圏の製販業者や病院、大学等を訪問し、会員企業の製品等とのマッチング、関係業界や医療現場のシーズ・ニーズの情報提供を行った。

※ 宮崎県医療機器産業研究会

- ・設立趣旨： 東九州メディカルバレー構想に基づき、医療機器産業の振興を図るため、本県内の産学官が連携し、企業の医療機器産業への新規参入、取引拡大を推進することを目的に設立
- ・設 立： 平成23年10月19日
- ・会 員 数： 122企業・団体（企業：104社、支援機関：18団体）

④フードビジネス推進基盤強化事業（事業費：47,370,717円 県）

フードビジネスに関係する事業者等の様々な相談に対応するため、経営・財務、販売戦略、販路開拓、デザイン、海外展開等の専門家を配置した総合相談窓口「みやざきフードビジネス相談ステーション」を設置し、フード関連の関係機関とも連携を図りながら、相談者の課題解決に向けた助言や提案等の支援に取り組んだ。今年度も、コロナ禍で対面による面談ができない期間があったので、WEB面談を積極的に活用した。

ア 担当コーディネーター等（18名）

コーディネーター	高峰 由美	事業計画、商品開発、海外展開
	藤藪 志保	商品開発、レシピ、食品表示
	森 祐一	商品開発、販路開拓
	諏訪園 哲哉	商品開発、経営管理、品質管理
	大角 恭代	商品開発、食品表示
アドバイザー	奥山 真智子	品質管理、HACCP
	上野 晃治	事業計画、販売促進、マーケティング
	川越 おもと	品質管理、HACCP
	小松 弘幸	品質管理、HACCP
	小治 健太郎	研究開発、食品の機能性分野
	馬場 愛子	経営戦略、事業計画、経営企画
	八田 淳	調理
	安藤 孝	食品の機能性分野、化学分析
	湯浅 まき子	食品表示
	中治 十成	品質管理、HACCP
	尾崎 恒夫	生産設備、食品工場設計
	中武 榮子	調理、加工
	上田 泰弘	海外展開支援

イ 相談実績

相談区分	相談件数
商品開発	297
食品表示	246
国、自治体等の助成金	152
販路開拓	133
マッチング	130
事業計画	127
衛生管理	88
情報収集・調査	60
創業	37
デザイン	33
その他	232
計	1,535

ウ 相談対応以外の活動内容

- ・ホームページ、フェイスブックによる情報提供
フードビジネスに取り組む企業等にステーションの活動を分かりやすく紹介するために、機構のホームページ内に「みやざきフードビジネス相談ステーション」のページを設けるとともに、フェイスブックのアカウントを作成し、随時更新しながら情報提供を行った。
- ・連絡会議等の開催
フードビジネス相談ステーションの相談案件等について、関係機関の情報共有及び事業の円滑な推進を図ることを目的に、月1回連絡会議を開催した。
- ・ステーションニュースの発行
フードビジネス相談ステーションのPRを積極的に図っていくため支援事例等を中心に年6回発行し、関係機関へ幅広く周知を図った。
- ・沖縄大交易会への出展支援
本年度の沖縄大交易会2022について、リアル商談会及びオンライン商談会への出展推薦を行った。
- ・食品表示相談会の開催
食品表示の適正な作成に取り組む企業を対象に相談会を月1回開催し、35事業者48件の相談に対応した。

⑤地域食資源イノベーションサポート事業（事業費：9,295,000円 県）

農山漁村発イノベーション※に取り組む事業者に対し、専門家（プランナー）の派遣を行い、経営改善に必要となる伴走支援を行った。

※これまで農林漁業者が取り組んできた6次産業化をさらに発展させ、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の多様な地域資源も活用し、地元の企業なども含めた多様な主体の参画によって新事業や付加価値を創出する取組み

【派遣実績】

12事業者に対し、延べ134回

【支援対象事業者一覧】

	事業者名	所在地	主な支援内容
1	(有)すき特産	小林市	業務の効率化に向けた在庫管理体制の構築（商品関連情報や商品管理の効率化）について
2	徳丸 拓郎	高鍋町	米粉麺事業の拡充による経営全体の見直し・改善について
3	(株)宮崎なかむら農園	宮崎市	財務改善の提案と日向夏の規格外品を活用した加工品の製造販売について
4	甲斐 正太郎	延岡市	釜入り茶の新商品開発及び販路開拓について
5	(株)日高水産	延岡市	新たな販路開拓と販売方法及び雇用体制の見直し

			しによる経営計画の再構築について
6	(株)田口ファミリーファーム	延岡市	観光農園を核とした交流施設の整備に伴う事業計画作成に関する支援
7	(株)熊田原工務店	日南市	自社食鳥処理場の適正な運営及びみやざき地頭鶏の販路拡大について
8	白砂ヶ尾地鶏牧場 野田 清照	宮崎市	経営分析とそれに基づく効率的な経営に向けた助言指導（無理無駄の排除、効率化）
9	ひなた原木椎茸(株)	日向市	原木椎茸の商品開発及び販路開拓、新商品の原価計算、収支計画等の経営分析・改善支援
10	芽ぐむ和合同会社	都城市	経営収支計画の基本的な考え方と作成に関する助言指導
11	(有)観音池ポーク	都城市	将来の事業承継に向けた人材育成支援、新たな製造・直売施設のプラン作成
12	くす美トマト農園 久須美 剣	宮崎市	県外展示商談会への取組（事前から事後までの対応）及びブランディング手法の支援

⑥みやざきローカルフードプロジェクト（LFP）強化事業

（事業費：9,040,400円 県）

地域の農林水産物が地域産業の中で有効活用されるよう、地域の食品産業を中心とした多様な関係者が参画するプラットフォームを形成し、それぞれの持つ経営資源をプラットフォームに結集し、社会的課題解決と経済的利益の両立を目指した自発的かつ持続的な新たなビジネスの創出を図った。

（活動内容）

- ・みやざきLFPプラットフォームの運営 会員数190事業者
- ・研修会及びワークショップの開催（3回）
- ・「プロジェクトの卵」発表会の開催
- ・成果報告会の開催
- ・プロジェクト支援（7プロジェクト）

	事業主体【構成員】	事業概要
1	ふわり点心開発プロジェクト 【(株)デイリーマーム、(株)トレードメディアジャパン、徳丸農園、(株)みやざきサンミート季穰、北浦さかな未来協議会】	県産米粉やフードロス食材を活用しながら、子供から高齢者まで誰でも美味しく食べられるような柔らかさに仕上げた「ふわり点心」の開発と国内外（都市部・台湾等）への販路開拓
2	北浦さかな未来協議会 【(株)いそ田、大寿水産(有)、はまや(株)、エッセンシャルワークス(株)、(株)食品検査・研究機構、合同会社木の芽時、はたけやま広告事務所、ケンコー食品工業(株)】	未利用魚の魚肉や加工処理端材を原料とした「フィッシュミート」をベースにしたヘルシーで高タンパクなハンバーガー用パテ・ナゲット・ソーセージの開発及び海外（北米等）への販路開拓
3	みやざきローカルフードプロジェクト観光事業協議会 【(株)ひとしお、(有)緑のりりょうくん、(株)ひなたいちご園農業、(株)宮崎なかむら農園、(株)ひむか農園、(株)デイリーマーム、(株)宮交シティ、(株)H I Sファーマーズ、(株)エイチ・アイ・エス、(有)よしき、綾町自然生態系農業農力向上委員会】	北日本地域との食文化の交流を目的とした農産物の相互販売及びそれをきっかけとした「ガストノロミーツーリズム」の実施 宮崎→北日本：柑橘類（へべす、日向夏、レモン等）

4	フード・リバイブ 【アリマン乳業(有)、黒木牧場、(株)アシエンテ、合同会社木の芽時、サムアンドアラン、サンアグリフーズ(株)、(株)本吉、(株)トレードメディアジャパン、@HINATA】	普段は廃棄されているホエイを活用した新商品の開発 ※ホエイ(乳清)とは乳から乳脂肪分やカゼインを取り除いた液体のこと
5	しんとみフードデザインプロジェクト 【児湯農業協同組合、合同会社オーガニックファームZERO、(株)ドライアップジャパン、(株)トレードメディアジャパン、(一財)こゆ地域づくり推進機構、(一社)ニューアグリベース、新富町】	新富町内の有機野菜(ニンジン、馬鈴薯、ニンニク)や地域の農畜産物(規格外野菜、こゆ牛)を活用した「ふりかけ」の開発及び直売所や学校給食、海外輸出等の販路開拓
6	みやざき食文化サスティナブル協議会 【(株)岡田商店、菓te-ri、キムラ漬物宮崎工業、合同会社カラープラス、早川しょうゆみそ(株)、(株)宮交シティ、(株)まつの、(有)ティーネットプロ】	シェフやバイヤー等が参画する「チーム・シェフ」からアドバイスや監修を受けた本県の伝統的な食材を使用した「宮崎の食文化」が見える商品開発及びオリジナルブランドの構築
7	テロワールみやざき協議会 【テロワール九州、田中椎茸、はまや(株)、白砂ヶ尾池地鶏牧場、ソラシドエア、chigood design他】	フレンチシェフ目線で選んだ県産食材リストのテストマーケティング用デジタルブックや動画・イメージムービーの作成 フランス文化振興会との連携による食材の認知度・信頼度の向上に向けた取組

⑦プラットフォームによる地域産業・企業成長促進事業(事業費:20,471,570円 県)

産学金労官の13機関で構成される企業成長促進プラットフォームの事務局を運営し、成長期待企業の認定を行うとともに、同プラットフォーム構成機関が連携した企業訪問等による指導・助言や企業の成長を促進する支援策等により、中核企業育成に向けた重点的な支援を行った。

ア 成長期待企業の認定

成長期待企業数	29社
---------	-----

【成長期待企業一覧】

(五十音順)

	企業名	業種	所在市町村
1	(株)池上鉄工所	生産用機械器具製造業	延岡市
2	(株)井崎製作所	金属製品製造業	新富町
3	(株)一平ホールディングス	飲食業/小売業	宮崎市
4	(株)英楽	食料品製造業	門川町
5	(株)オフアサポート	老人福祉・介護事業/学習支援事業	宮崎市
6	(株)九建	総合工事業	宮崎市
7	(株)くしまアオイファーム	農業	串間市
8	(株)コア・クリエイトシステム	情報サービス業	宮崎市
9	(株)サニー・シーリング	印刷・同関連業	都城市
10	(株)システム技研	生産用機械器具製造業	都城市
11	(株)修電舎	電気機械器具製造業	延岡市
12	(株)新海屋	食料品製造業	延岡市
13	(株)SHINGAKI	飲食料品卸売業	宮崎市
14	(株)SUNAO製菓	無店舗小売業	宮崎市
15	スパークジャパン(株)	情報サービス業	宮崎市
16	(株)高嶺木材	木材・木製品製造業	日南市

17	(株)新原産業	その他の卸売業	三股町
18	日本情報クリエイト(株)	情報サービス業	都城市
19	ネオフーズ竹森(株)	食料品製造業	都城市
20	(株)日向屋	食料品製造業	門川町
21	マイクロエース(株)	金属製品製造業	宮崎市
22	(株)宮防	職別工事業(防水工事等)	宮崎市
23	(株)モリタ	輸送用機械器具製造業	宮崎市
24	森山工業(株)	金属製品製造業	延岡市
25	ヤマエ食品工業(株)	食料品製造業	都城市
26	(株)山崎産業	総合工事業	延岡市
27	大和フロンティア(株)	木材・木製品製造業	都城市
28	吉田産業(株)	木材・木製品製造業	日南市
29	(株)ワン・ステップ	物品賃貸業	宮崎市

※上記29社に加えて、「地域中核的企業」の認定を受けたミツワハガネ(株)及び宮崎ひでじビール(株)についても成長期待企業として支援を行った。

イ 企業訪問等数
23社に対して延べ189回

ウ 成長期待企業への外部専門家の派遣

	企業名	専門家分野	専門家
1	ネオフーズ竹森(株)	JFS-B規格※適合証明取得 (※食品安全マネジメント規格)	NPO法人宮崎食品安全研究会 理事長 中治十成

エ 企業成長ステージアップ支援事業補助金

	企業名	内容	補助額
1	ヤマエ食品工業(株)	販路拡大	75,000円
2	(株)九建	設備導入	681,000円
3	(株)池上鉄工所	ブランディング強化	1,000,000円
4	(株)SHINGAKI	販路拡大	619,000円
5	(株)SHINGAKI	販路拡大	341,000円
6	(株)SHINGAKI	販路拡大	333,000円
7	(株)山崎産業	販路拡大	663,000円
8	(株)英楽	販路拡大	264,000円
合計			3,976,000円

⑧新事業創出支援事業(事業費:16,893,131円 県)

「自己変革力」を身につけ、新たなビジネスモデルに挑戦し、環境変化に柔軟に対応できる企業を育成するため「宮崎県次世代リーディング企業」を認定し、支援計画を基にプロジェクトマネージャーの訪問による相談対応のほか、外部専門家派遣やビジネスマッチングなどの伴走支援を実施した。

ア 次世代リーディング企業の選定

次世代リーディング企業	6社
-------------	----

【次世代リーディング企業一覧】

(五十音順)

	企業名	所在地		企業名	所在地
1	(株)くしまアオイファーム	串間市	4	(株)ハニー	宮崎市
2	(株)グローバル・クリーン	日向市	5	ミツワハガネ(株)	延岡市
3	(有)産機サービス	宮崎市	6	(株)ワン・ステップ	宮崎市

イ 企業訪問等数
6社に対して延べ56回

ウ 次世代リーディング企業への外部専門家の派遣

	企業名	専門家分野	専門家
1	(有)産機サービス	人事制度及び賃金制度の土台づくり	金丸秀一 社会保険労務士
2	(株)ハニー	人事制度及び賃金制度の土台づくり	金丸秀一 社会保険労務士

⑨ビジネスプロデュース事業（事業費：13,657,321円 県）

県内企業の新事業創出や支援機関のノウハウ習得のため、委託した大手コンサルタントが県内の支援機関と二人三脚で、県内企業の商品開発や販路拡大等について伴走型支援を実施した。

(参加者)

支援機関	支援先企業	支援の概要
(一社)宮崎県発明協会	(株)宮防	共同研究先の開拓 販路開拓等
宮崎商工会議所	(株)九州築地	販路開拓 県外企業とのマッチング等
都城商工会議所	(株)Iron	販路開拓 製造方法の見直し等
延岡商工会議所	(株)やよい食品	販路開拓 HPの課題整理等